



プレスリリース: 2015年12月10日

トピック: サーバーストレージ/ネットワーク

オールフラッシュデータセンターへの安全かつ迅速な移行を支援

- 強化されたオールフラッシュ「HPE 3PAR StoreServ」ソリューションと「HPE StoreOnce」保護機能により、将来を見据えた次世代データセンターを実現 -

2015年12月10日

日本ヒューレット・パッカード株式会社

日本ヒューレット・パッカード株式会社(本社: 東京都江東区、代表取締役社長執行役員: 吉田 仁志、以下 日本ヒューレット・パッカード)は、オールフラッシュデータセンターへの移行を加速する、新たな「HPE 3PAR StoreServ Storage」ソリューションを発表します。またオールフラッシュ環境のリスク低減のため、「HPE 3PAR StoreServ」を「HPE StoreOnce」「HPE StoreEver」製品ラインアップに統合し、データ保護の強化をします。

企業活動の迅速化が求められる中、IT-as-a-Serviceやデータ分析のニーズが増加し、フラッシュストレージの導入が促進されています。フラッシュを導入した企業は、スピードと予測可能なサービスレベルを手に入れるだけでなく、ハードディスクからより高密度のメディア(*1)への移行によりストレージ専有面積を最大85%削減しています。たとえばIDCは、スナッチショット、クローン、暗号化、複製、およびQoS(*2)などエンタープライズクラスのデータサービスに対応したフラッシュプラットフォームが増えてきていることにより、フラッシュベースのレイがデータセンターに与えている影響は否定できないとしています。「HPE 3PAR StoreServ」はこうしたデータサービスの提供に加え、近年、業界をリードする拡張性(*3)、新記録を達成したパフォーマンス(*4)など、フラッシュポートフォリオのアップデートを行っています。本日発表する製品群により、従来のストレージユーザーは、リスクを減らしながらフラッシュへとより迅速に移行できるようになります。

<オールフラッシュデータセンターへの移行を加速>

「HPE 3PAR StoreServ」は同一アレイ内オールフラッシュとフラッシュ/HDD混合型ハイブリッドに対応し、同時にパフォーマンスとエンタープライズクラスのレジリエンシー(強靭性)を備えたソリューションにより、企業によるオールフラッシュデータセンターへの移行を加速させます。2015年11月には、Storage Performance Councilから「3PAR StoreServ 20850」オールフラッシュアレイがSPC-2の世界記録を更新したというレポートが公開され、EMC VMAX 400Kの半分の価格ながらパフォーマンスがより優れていることが示されました(*5)。

こうした成果をもとに、HPEは以下の新しい「HPE 3PAR StoreServ」製品、ソリューション、およびサービスを発表します。

- 「3PAR Flash Acceleration for Oracle」 - データベースのパフォーマンスを最大75%引き上げ(*6)、同時にEMC VMAXなど従来システムを引き続き利用することのできる、HPEによる検証済みのソリューションです。このフラッシュアレイは従来のストレージのアップグレードと比較して半分のコストで設置可能です(*7)。
- 「3PAR Online Import」ソフトウェア - ハードディスクドライブ(HDD)を使った従来のストレージから、簡単な5ステップでの移行を実現するための、12ヶ月間の無償ライセンスです。EMCに加え、新たにIBM XIVに対応しました。
- 3D NANDドライブのサポート - この新しいソリッドステートドライブ(SSD)テクノロジーのサポートにより、わずかな追加投資でアプリケーションのパフォーマンスを加速できます。

<フラッシュ対応のユニファイドストレージと次世代アクティブアーカイブによりコストを低減>

単一のメディアタイプや単一のSANプロトコル向けに設計された専用フラッシュシステムとは異なり、「HPE 3PAR StoreServ」にはファイルとブロックストレージの両方に加え、HDDのセカンダリ階層にも対応し、フラッシュに最適化された設計が行われています。日本ヒューレット・パッカードは、このアーキテクチャを活用し、「3PAR StoreServ 8200 Converged File and Block Starter Kit」も発表します。このユニファイドシステムをさらに安心して導入いただけるよう、日本ヒューレット・パッカードは仮想デスクトップインフラストラクチャ(VDI)とSharePoint環境に対応したいくつかの「HPE 3PAR StoreServ」向けリファレンスアーキテクチャ、および情報管理のための複数のHPE Softwareソリューションを発表します。

日本ヒューレット・パッカードは、刷新された「StoreEver LTO-7」メディア、ドライブ、および自動化ライブラリのポートフォリオを提供します。新しい製品ラインナップにより、さらに低コストで信頼性に優れた長期データ保持が可能なソリューションを提供し、前世代のLTOテクノロジーと比較して2倍近いパフォーマンスと2倍の容量(*8)、さらに100倍に高められた信頼性(*9)を実現します。ハイパフォーマンスの「3PAR StoreServ」フラッシュアレイと新しい「StoreEver Tape」を組み合わせることにより、「tape as NAS」ソリューションにより、簡単かつシームレスに、あたかもディスク上にあるかのようにテープ上の大容量アーカイブデータにアクセスすることができアクティブアーカイブを実現します。

<フラッシュおよびアプリケーションと統合されたデータ保護によりリスクを軽減>

日本ヒューレット・パッカードはさらに、従来のサイロ化されたバックアップ環境から、フラッシュアレイおよびアプリケーションと統合されたデータ保護環境に移行するお客様のための新たなソリューションを発表します。新しいエンタープライズおよびミッドレンジの重複排除バックアップアプライアンス「HPE StoreOnce Systems」は、競合製品と比較して最大2.7倍のパフォーマンス

(*10)と最大2倍の密度(*11)を提供します。新しい「StoreOnce」モデルには、使用可能な論理容量1ギガバイトあたりの価格はわずか6.4円であり(*12)、Oracle、SAP、Microsoft、Veeam、およびVeritasアプリケーションとの統合によりパフォーマンスを改善し、ネットワーク帯域幅を削減し、また専用のバックアップ管理を不要にします。

オールフラッシュデータセンターへの移行を検討中のお客様向けに、最新「StoreOnceモデル」には、「StoreOnce Recovery Manager Central (RMC)」ソフトウェア経由で、「3PAR StoreServ」からのアプリケーションと連携したスナップショットオフロード機能を提供可能です。すでにVMwareと統合されている「RMC」ソフトウェアは、「3PAR StoreServ」からMicrosoft SQLスナップショットを直接作成し、独自の「HPE Express Protect」テクノロジーを経由してどの「StoreOnce」バックアップにも移動できるようになりました。VMware vCenterおよびMicrosoft SQL Studioの管理機能との高度な統合を実現したこのソリューションは、ユーザーがセカンダリストレージヘデータを移動することによってリスクを減らし、専用バックアップソフトウェアのライセンスにかかるコストを削減します。またバックアップとリカバリを加速することにより、システムの敏速性を高めます。さらに、「HPE Data Protector」と「RMC」との統合により、高度な仮想マシンのリカバリオプション、粒度の細かいリカバリ、およびテープやクラウドなどの階層活用による長期的なデータ保持の効率改善が可能になりました。

<本日発表の製品>

製品名	希望小売価格(税抜)	販売開始日
3PAR StoreServ 3D NAND SSD	60万円～	2015年12月10日
3PAR StoreServ 8200 Converged File and Block Starter Kit	960万円	2016年2月下旬
StoreEver LTO7 Ultrium15000 テープドライブ	68万円～	2015年12月10日
StoreEver 1/8 G2 LTO7テープオートローダー	118万円～	2015年12月10日
StoreOnce 3100 8TB System	98万円～	2015年12月10日
StoreOnce 3520 12TB System	180万円～	2015年12月10日
StoreOnce 3540 24TB System	240万円～	2015年12月10日
StoreOnce 5100 48TB System	630万円～	2015年12月10日
StoreOnce Recovery Manager Central for SQL	34万円～	2015年12月10日

*1: HPE社内での分析: 容量12 PBのEMC VMAX 400Kと比較(HDD 90%とSSD 10%の混合)

*2: 『Flash-Based Array Market Proving to Be More Than Just a Flash in the Pan as Market Soars Past \$11 Billion in 2014』2015年1月、IDC調査

*3: 「HPE 3PAR StoreServ 20850」により62,844.45 SPC-2™ MBPS、19.93ドル/SPC-2™ MBPS Price Performanceを実証(2015年11月16日現在)

http://www.storageperformance.org/benchmark_results_files/SPC-2/HPE/B00075_HPE_3PAR-StoreServ-20850/b00075_HPE_3PAR-StoreServ-20850_SPC-2_executive-summary.pdf

*4: 使用可能容量12 PBの「HPE 3PAR StoreServ 20850 Storage」と40TBのフラッシュブリック(合計8システム)を使用して12 PBの使用可能容量を得たEMC XtremIOストレージとの比較に基づくHPE社内での分析

*5: EMC VMAX 400KによりSPC-2™ MBPS、33.58ドルのSPC-2™ MBPS Price Performanceを実証(2015年11月16日現在) http://www.storageperformance.org/benchmark_results_files/SPC-2/EMC/B00073 EMC_VMAX-400K/b00073 EMC_VMAX-400K_SPC-2_executive-summary.pdf

*6: HPE社内での試験に基づく(2015年8月)

*7: Wikibon 2015年11月

*8: LTO-6テクノロジーとの比較

*9: LTO-6テクノロジーと比較した場合のビットエラー率比較に基づく

*10: Data Domain Boostを搭載したEMC DD2200と「StoreOnce Catalyst」を搭載した「HPE StoreOnce 3520/3540 System」の公開製品情報に基づく

*11: 「HPE StoreOnce 3540」とEMC DD2200の公開製品情報に基づく

*12: 容量15.5TBの「HPE StoreOnce 3540 System」の国内希望小売価格(税抜)に基づき、20:1の重複排除率を想定

■ 新製品に関する製品情報は以下のURLを参照してください。

HPE 3PAR StoreServ: <https://www.hpe.com/jp/ja/storage/3par.html>

HPE StoreOnce: <https://www.hpe.com/jp/ja/storage/storeonce.html>

HPE StoreEver: <http://www8.hp.com/jp/ja/products/data-storage/storeever.html>

■ 製品写真ライブラリ(画像データは以下のURLからご覧になれます。)

<http://h50146.www5.hp.com/info/newsroom/library/hpe/storage/>

■ プレスルーム

<http://www8.hp.com/jp/ja/hpe-news/newsroom.html>

#

文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ お客様からのお問い合わせ先

カスタマー・インフォメーションセンター

TEL: 0120-268-186 (携帯、PHS: 03-5749-8279)

ホームページ: <http://www.hpe.com/jp/>
